

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

金武町立中川小学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例: 小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒904-1201

金武町字金武10154番地

E-mail nakagawasyou@woody.ocn.ne.jp

Website <http://kin-ed.sakura.ne.jp/kiraring/>

幼児児童生徒数 男子 17 名 女子 38 名 合計 55 名

幼児・児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は、学校経営の基本理念に「ESD 教育を通して、創造性・国際性に富む人材の育成」を取り入れ、学校教育目標に「夢や希望を持ち、心身ともに健康でたくましく持続可能な社会に貢献する子」と定めている。

ESD のテーマとして「つながる地球みんな仲間」と設定し、ESD の実践を通して体系的な思考力、持続可能な発展に関する価値観を見いだす力、代替え案の思考力 (批判力)、情報収集・分析能力、コミュニケーション能力、リーダーシップの向上を育みたい力としている。

具体的には①環境教育、②国際理解教育、③キャリア教育、④平和教育 の 4 つの分野をつなげ進めてきた。

### ① 環境教育

3 年生は主に校内にある生き物について調べ、そこから発展して校区内の億首川や周辺のダムへ実際に行き、マングローブ林やその周辺に生息する生き物について学習した。また、本やパンフレット、インターネットから見つけた生き物について調べ、オリジナルの図鑑を作成し、身近にある自然について知ることがで

きた。授業参観等で父母や他学年の児童に知らせることができた。

また、5年生では、国語の単元で「世界遺産、白神山地からの提言」という単元でいろいろなパンフレットを収集して、自分たちの住んでいる沖縄の山原（やんばる）の森の実態やこれからの保護のあり方について自分たちなりに意見文を書いてまとめ、これから自分たちがどうしていけばいいか考え、紹介することができた。

## ②国際理解教育

国際理解教育は、英語特区として特例的に教育課程を編成し、全学年で英語活動に取り組んでいる。普段の英語活動と共に、ハロウィン、クリスマスなどの行事を通して、また、金武町海外移住者子弟研修生との交流会を通して異文化にふれることができた。

学習発表会では5、6年生が地域に伝わる昔話を英語や方言を交えて「大城のタンメー」という劇を発表することができた。日頃英語活動で取りくんでいる英語を交えて台詞を発表し、父母や地域の方に好評だった。

4年生は、自分たちの住んでいる金武町のことを自然・歴史・文化の視点から調べ、金武町のパンフレットを作り、前年度世界のウチナーンチュ大会で来校したボリビアのコロニア沖繩にある、ヌエバ・エスペランサ校の生徒へ作ったパンフレットを紹介し、自分たちの住んでいる地域のよさをいろいろな視点から知ることができた。

4、5、6年生は運動会で、自国の文化を尊重することを目標に、地域の伝統文化であるエイサーを青年会より指導の協力をいただき発表の場として取り組むことができ、地域の伝統文化を知る良い機会となった。

ユニクロさんの行っている「服のチカラプロジェクト」に今年も参加し、子供服を必要としている難民の方へ古着を送ることができた。近隣の小中学校だけでなく地域の公民館や他の市町村からも協力いただき、たくさんの子供服を送ることができた。世界の困っている人へ自分たちができることは何なのか考え、地域の方、近隣校と協力してできる達成感を得ることができた。また自分たちの活動を振り返り、児童会を中心に送られた服がどのように届いたのか全校児童や協力いただいた学校へ紹介ビデオを作成し活動のまとめをすることができた。

## ③キャリア教育

キャリア教育では、各学年で道徳、学級活動、生活科、総合的な学習の時間、社会科などの学習を関連させ、人間関係形成能力、自己理解能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力の育成を図った。

1学期には、抱いた夢、目標に変容はないか、自分に合っていると思う職業、友達が合うと思う職業を出し合い共有する。また「働く」ことの意義「働く」ために必要な力は何か？等を考えさせた。その後5、6年生では地域にある施設や事業所の協力を得て、職場体験学習を行うことができた。

4、5、6年生は恩納村にある科学技術大学院大学（OIST）で「科学者ってなあに？」というテーマで科学者の仕事や働いている人について調べ、将来の夢に向かって考える機会となった。

#### ④平和教育

6月に沖縄慰霊の日に合わせて、今年度は金武町立図書館へ行き、全校児童で平和についての企画展の写真や資料から、昔の金武町の様子や戦争の頃の様子を知ることができ、改めて平和の尊さを学習することができた。

また、6年生は11月の修学旅行で実際に沖縄平和祈年資料館や南部戦跡を巡る学習を事前学習からまとめのレポート作成まで年間を通した学習を行うことができた。



①億首川での生き物観察



②海外移住子弟研修生との交流会



②運動会でのエイサー披露



②難民の方へ送る子供服を回収



③地域の施設での職場体験



④町立図書館の方から戦争の頃の金武町の様子を聴く

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(キャリア教育 )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

- ・ 金武町役場ホームページ
- ・ 「億首川の生き物」(カニ、エビ、魚)
- ・ 「ひらけゆく沖縄県」沖縄時事出版
- ・ 「わたしたちの金武町」金武町教育委員会

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- ・環境教育としては、1, 2 年生は生活科や図画工作、道徳で、3～6 年生は理科や総合的な学習の時間で行った。主に 3 年生は総合的な学習の時間で「生き物はかせになろう～地域の生き物観察を通して～」を中心に理科の「チョウを育てよう」と関わらせながら国語「生き物のとくちょうをくらべて書こう」「調べてほうこくしよう」等の単元で調べたことや発表することをまとめた。
- ・国際理解教育は、主に 4 年生の総合的な学習の時間では「郷土の自然・歴史・文化～先人から学ぶ～」を中心に社会科「地域の発展につくした人たち」「私たちの県のまちづくり」「世界とつながる沖縄県」国語と関連させながら学習を進めた。
- ・キャリア教育は、主に 5 年生の総合的な学習の時間「なりたい自分探し～いろいろな仕事を知ろう～」を中心に社会科「食料生産を支える人々」「工業生産を支える人々」道徳「目標に向かって」「長所を伸ばす」家庭科「見つめてみよう私と家族」と関連させながら学習を進めた。
- ・平和教育は、全学年慰霊の日の特設授業と関連させながら、戦争の頃の金武町の様子を町立図書館の企画展から学習することができた。6 年生は総合的な学習の時間「平和を考える～今私たちにできること～」を中心に社会科「戦争と人々の暮らし」「平和で豊かな暮らしをめざして」「世界の人々とともに生きる」、修学旅行と関連させながら学習を進めた。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ・年度初めに学校経営方針の中で校長先生がユネスコスクール、ESD 教育について全職員に説明したり、夏休みの校内研修で地域の億首川での環境教育やESD 教育についての研修を行ったりした。
- ・ESD カレンダーを作成し、年間を通しての活動の見通しをもたせる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

・学校全体でのESD推進体制がまだ弱いため、校内研や研修などで質の向上に努めていきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

・校内では学習発表会で全校児童・保護者・地域の方にESDの活動成果を紹介したり、町内の学推報告会でも児童の活動を報告したりすることができた。  
・学校のHPでもその都度活動を紹介することができた。  
・児童の作成したポスター、作文、作品などは校内の掲示板に掲示して授業参観などで紹介し、プレゼンテーションソフトを使って学習のまとめを発表することができた。  
・校内での発表では、次年度自分たちの行う活動を知ることができ、児童の意欲付けにつながった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

・毎年行っているユニクロさんの「服のチカラプロジェクト」へ参加し、金武町内の小・中学校や宜野座村の小中学校と連携し活動を行った。また、公民館や地域の方とも協力して行った。  
・キャリア教育では地域の「かねひで」「みつばこども園」「金武町社会教育課」「KIN 放射線治療・検診クリニック」「ネイチャーみらい館」の協力のもと職場体験を行うことができた。また、恩納村の科学技術大学院大学（OIST）で科学者の仕事について学習することができた。  
・年度後半ではEPO九州さんとの交流を行い、次年度へつなげることができた。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）  
※チェック事項 2-4 に対応

・今年度は他のユネスコスクールとの交流を行うことができず、なかなかネットワークの形成を行うことができなかつたので、次年度は交流ができるよう工夫していきたい。

⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

・環境教育、国際教育、平和教育、キャリア教育の4つの領域を通して行うことにより、自分たちの住んでいる地域のよさや先人の歴史、伝統文化自分たちの足下からできることを調べ、体験することにより、これから自分たちができることをさらに見直し自分たちの住んでいる地域を誇れる人材の育成

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

・環境教育、国際理解教育、平和教育、キャリア教育の4つの領域を1, 2年生は生活科、道徳、学級活動、3年生～6年生は理科、社会、総合的な学習の時間を中心に取り組む予定である。  
・環境教育は、3年生を中心に地域にある億首川での生き物調査、理科クラブの自然観察  
・国際理解教育は、4年生を中心に金武町の歴史・文化・自然を調べ内外へ発信する活動。また、金武町は英語特区として、全学年で英語活動に取り組んでいるため引き続き英語活動の充実、海外移住者子弟研修との交流会。また、学校行事では地域の伝統芸能であるエイサーを青年会の協力で指導を受け、運動会で発表する予定である。  
・平和教育は、6年生を中心に沖縄戦について調べ、修学旅行で南部戦跡へ行き、平和について考える機会を持つようにする。また、6月には全校児童で平和学習をする計画がある。  
・キャリア教育では、5年生を中心に地域の企業や施設に行き、職場体験を行う予定である。また全学年通して、生活科や社会科などでも地域の働いている人や施設を学習する予定である。